

関わりである。各職種1名あたりの対象者数に大きな開きは見られないのは、チームが組まれていることやそもそもの対象者数が少ないことによるものと思われる。

4. 調査集計

前述した期間においては土、日、祝日をはさまれていたことから、実働は10日間として集計しデータ化を行なった。医療機関別と職種別でそれぞれ分類し、10日間の全数、対象者1名および各職種1名における1日の時間数を算出した。記入は10分単位で行なってもらったが、数量に合わせてデータ化においては時間換算と分換算に使い分けた。また業務内容については14項目を設定したが、比較が必要な箇所は①から⑧までを通院サービス(直接サービス)、⑨から⑪までを会議、⑫から⑭までを記録・研修など、の3分類としてまとめた。また各職種においては記入のあった業務のみをデータ化したので、それぞれで取上げている項目は異なる。

回答いただいた7病院の8職種46名が、調査期間中において13名の対象者に行った業務全てをまとめたものである(図1、表3)。10日間で計315時間であり、14の業務項目も全て行なわれている。チーム会議や記録の時間はやはり多い。また研修への参加も見られる。

図1 全病院の業務内容・時間総数

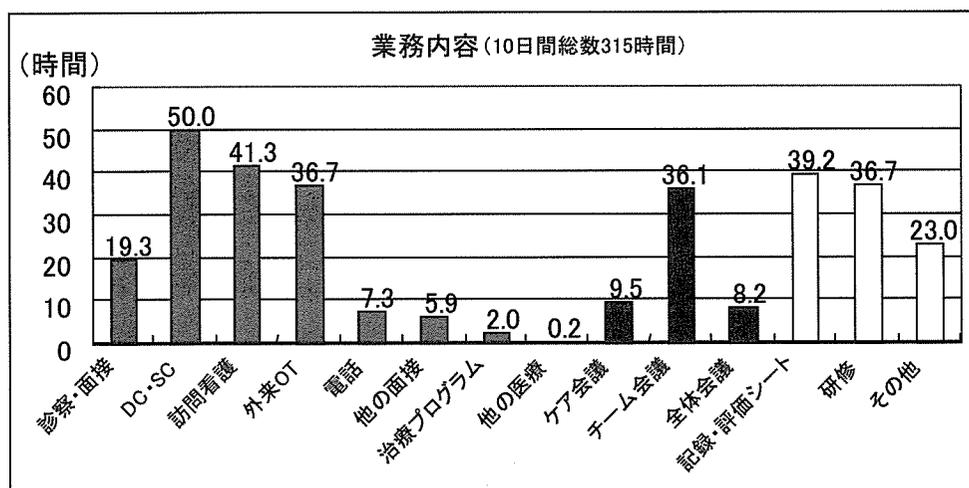


表3 全病院の業務内容・時間総数

診察 面接	DC・SC	訪問 看護	外来 OT	電話	他の 面接	治療プロ グラム	他の 医療
19.3	50.0	41.3	36.7	7.3	5.9	2.0	0.2
ケア 会議	チーム会 議	全体 会議	記録・評価 シート	研修	その他		計
9.5	36.1	8.2	39.2	36.7	23.0		315

※単位 時間

図2と表4は前述した全病院の業務を3分類にまとめたものである。医療機関毎に比重はかなり異なり、通院サービスが8割を占めるところから、会議が5割を占めるところまでとさまざまである。対象

者数がまだ少ないことで差異が生じていると思われるが、4名の対象者がいるG病院の業務比重が、比較的このグラフに近い傾向である。

図2 業務内容の比重

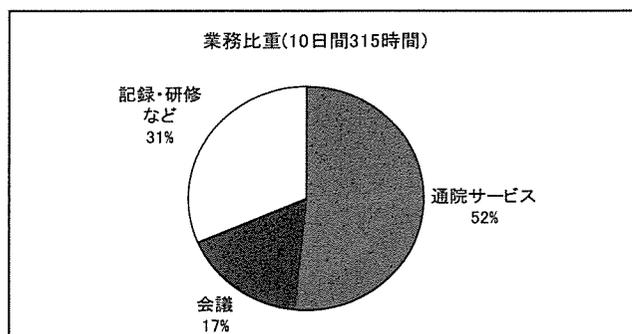


表4 業務内容の比重

業務項目	時間数
通院サービス	163 時間
会議	54 時間
記録・研修など	99 時間

図3と表5は各医療機関において関わった全職員の業務内容・時間を、対象者1名に対して1日に行なったものとして換算したものである。各医療機関での対象者数は前述した属性の通りである。図2でも触れたが、通院では3~137分、会議では7~44分、記録などでは6~79分とかなりバラツキが見られる。平均化するのはかなり困難であるが、大雑把に捉えると1医療機関における1日の関わりは2時間程度となっている。

図3 医療機関別の1日における業務内容・時間

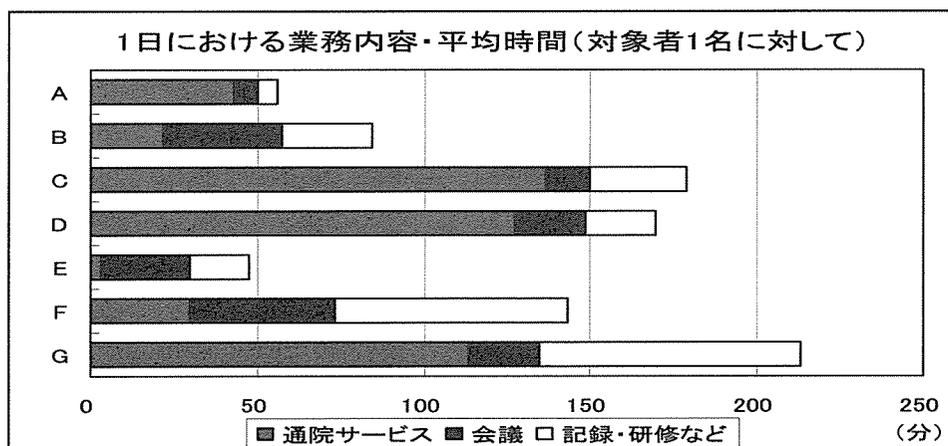


表5 医療機関別の1日における業務内容・時間

	通院サービス	会 議	記録・会議など	計
A 病院	43	7	6	56
B 病院	22	36	27	85
C 病院	137	13	29	179
D 病院	127	22	21	169
E 病院	3	27	18	48
F 病院	30	44	70	143
G 病院	114	21	79	213
平 均	68	24	36	127

※単位 分

図4と表6は各職種がこの10日間に行なった業務と時間についての総数をまとめたものである。通院サービスの比重が多いのは順にOT、DC、看護師で、会議の比重が多いのは順に医師、心理担当、PSWであり、記録・研修などが多いのは順に心理担当、PSW、医師である。また固定プログラムを持たない中で、PSWの関わりが2番目に多い点が注目される。

図4 職種別の業務内容・時間の総数

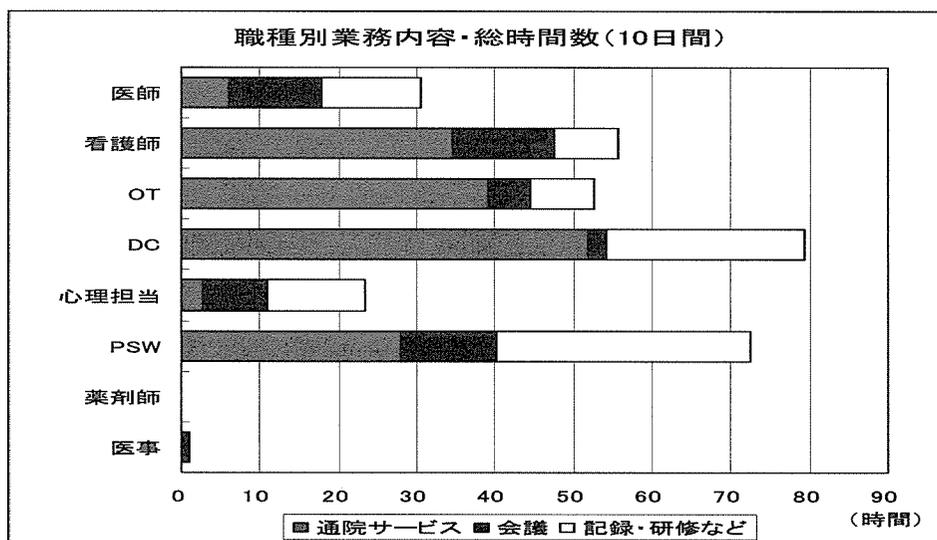


表6 職種別の業務内容・時間の総数

	通院サービス	会 議	記録・研修など	計
医 師	6	12	13	30
看護師	35	13	8	56
O T	39	5	8	53
D C	52	2	25	79
心理担当	3	8	13	23
PSW	28	12	33	73
薬剤師	0.3			0.3
医事担当		1		1

図5と表7は各職種が対象者1名に行なった1日の業務内容・時間を、算出し比較したものである。職種別の人数、対象者数は前述した属性の通りである。OTとDCの職員数と対象者数は同じだが、医師、看護師、心理担当、PSWは対象者数が上回り、複数担当も見られる。全く単純な平均化であるが、各職種の1日あたりの業務時間は40分程度になっている。

図5 職種別の1日における業務内容、時間

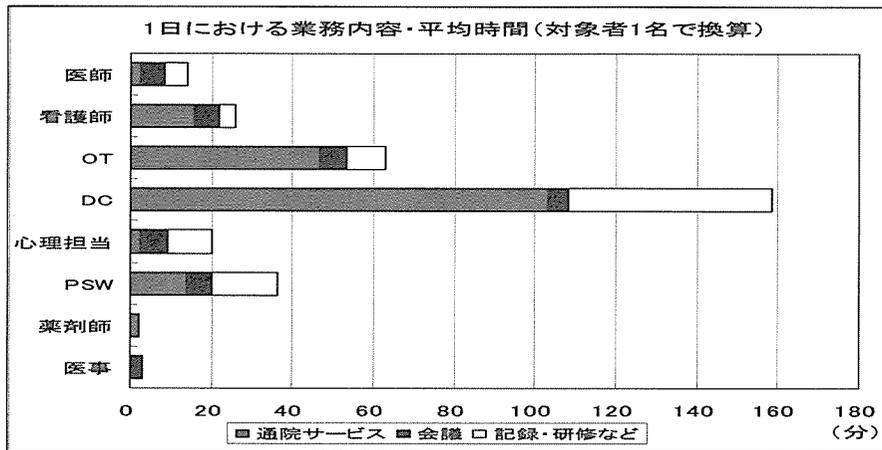


表7 職種別1日における業務内容、時間

	通院サービス	会議	記録・研修など	計
医師	3	5	6	14
看護師	16	6	4	26
OT	47	6	10	63
DC	104	5	50	159
心理担当	2	7	11	20
PSW	14	6	16	36
薬剤師	2			2
医事担当		3		3
平均	27	6	16	40

<対象者1名に対する各職種の業務内容と時間>

前述した各職種の、1日における業務内容と時間の詳細を示す(図6-1~6-6、図7、表8)。これは10日間に行なわれた全業務を職種別に集計し、日数および各職種が担当している対象者数で算定したものである。従って任意の1日ではなく平均化された1日としてデータ化されたものである。職種別に、より具体的な業務内容を提示しているものの、現実を踏まえた上でのあくまでもモデルであり、業務量や内容、マンパワーを考えていく上での参考になればと考えている。全て1日における1名の対象者へ各職種1名の関わり、という想定である。ここでは薬剤師、医事担当について単一業務のみの記入であったので省略した。

図 6-1 医師の業務内容・時間（1日）

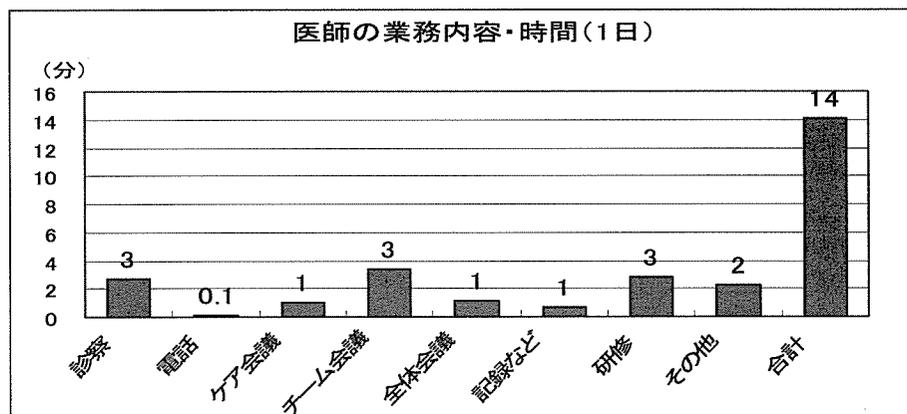


図 6-2 看護師の業務内容・時間（1日）

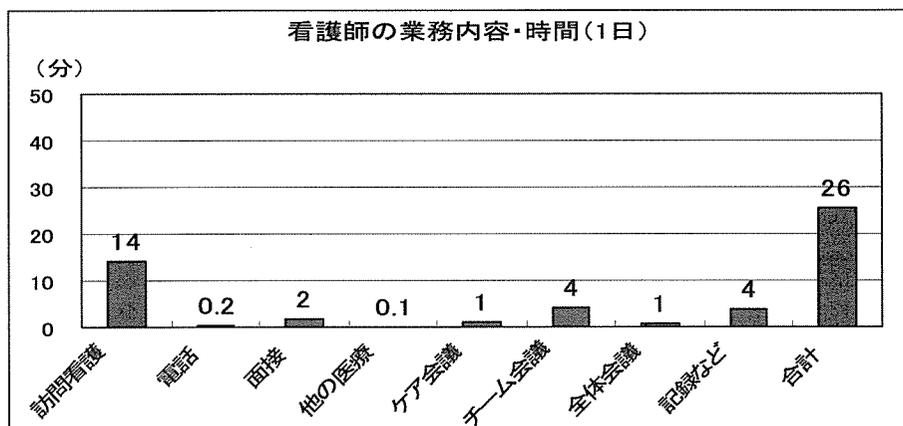


図 6-3 OTの業務内容・時間（1日）

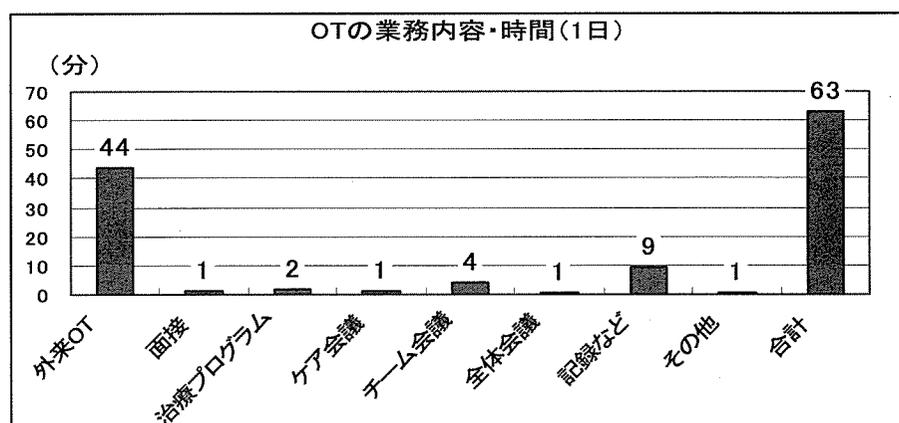


図 6-4 DC の業務内容・時間 (1 日)

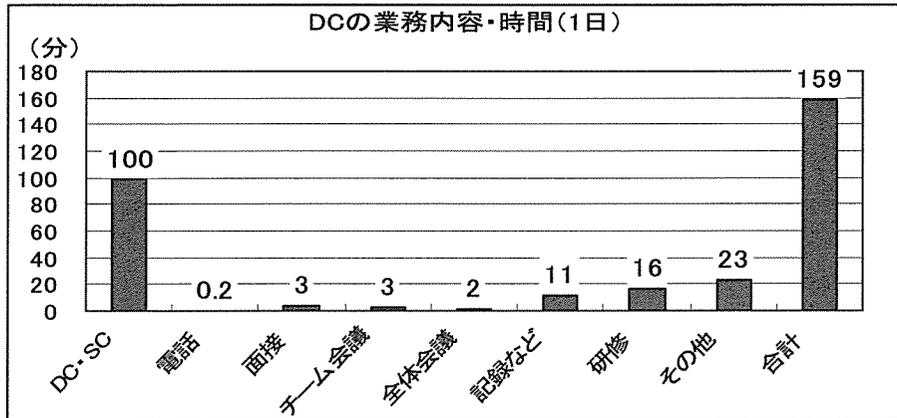


図 6-5 心理の業務内容・時間 (1 日)

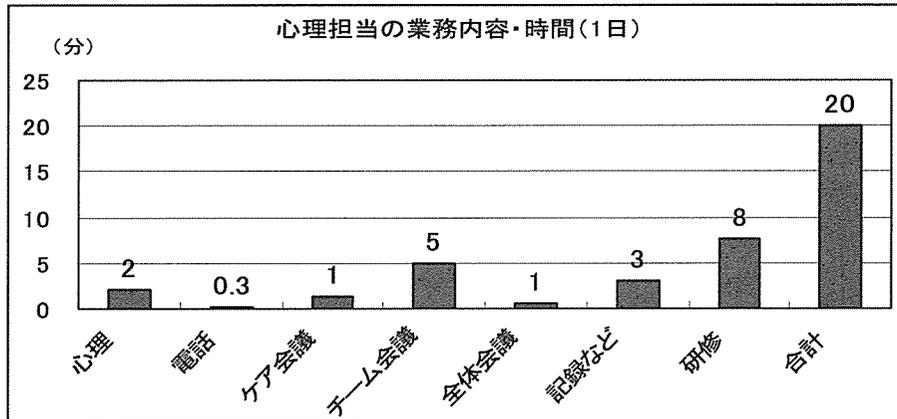


図 6-6 PSW の業務内容・時間 (1 日)

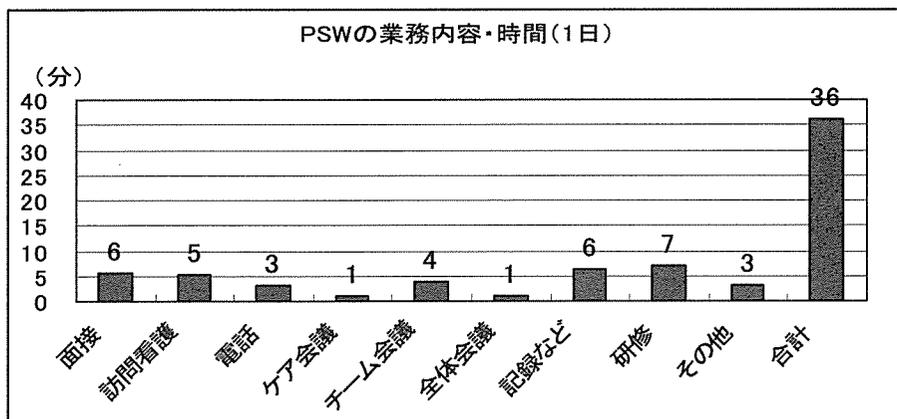


図 7 職種別業務時間数 (1 日)

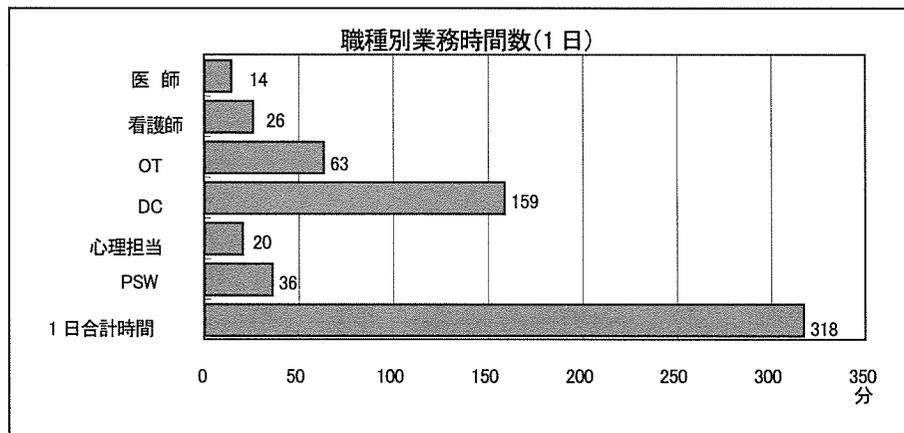


表 8 職種別業務時間数 (1 日)

	1日の平均業務時間
医師	14
看護師	26
O T	63
D C	159
心理担当	20
PSW	36
合計	318

5. 考察とまとめ

各職種における対象者 1 名への 1 日の業務時間と、その合計である。単純な足し算による処遇ではなく、数の違いこそあれ上記のような多職種が並行し、それぞれの専門性で面のように広がりながら支援している印象を受けた。

今回は 7 医療機関で、13 名の対象者に関わっている 46 名の職員から調査票の記入をしていただいた。対象者は 1~2 名がほとんどであり、体制作りも進めながらひとつずつ取り組んでいるという印象を受けた。業務内容についても各職種の取り組み状況を大枠でイメージすることができた。医療機関ごとにバラツキ見られたが、会議に流されずに、できるだけ通院サービスの時間を確保しようという取り組みが感じられた。一方でチーム・ケア会議が定例化している動きも見られる。薬剤師や医事担当など病院ならではの多職種チームでの支援も大いに参考にしていきたい。PSW は面接や家族支援、資源・制度利用支援などの本来業務とあわせて、訪問看護の同行や院内外の連絡調整などを担っていると思われ、業務量全体の中でも次点につけた。通院処遇、地域処遇における PSW (精神保健福祉士) の業務についてはあまり明記されていないので、こうした調査にて現状把握を進め、この制度における役割や業務を明確に位置づけていく必要がある。もちろん他の職種にも重なる話でもある。

今のところ通院処遇は徐々にという動きであり、今回の 7 医療機関でも工夫しながら対応している。

この調査においてはごく単純な平均時間であるが、1日に各病院で2時間程度、各職種においては40分程度が、対象者1名に関わっている時間と算出された。しかし当然ながら今後、地域で生活をしていく方は増えていくわけであり、その動きはある日ドラスティックに進む可能性も否定できない。入院機関という器の必要性は認めるが、いずれはほとんど通院となるわけであり、今からでも（すでにだが）通院処遇、地域処遇にマンパワーや財源を向ける具体的な対策を考えて進めていく必要がある。

ご多忙な折、今回の調査に快くご協力いただいた7病院、46名のみなさまに、紙上を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

所属長 様

厚生労働科学研究費補助金（こころの健康科学研究事業）

分担研究「通院処遇における関係機関の連携体制の構築に関する研究」

(分担研究者 川副泰成)

分担研究「他害行為を行った精神障害者に対する通院医療に関する研究」

(分担研究者 岩成秀夫)

医療観察法通院処遇タイムスタディの調査について (ご依頼)

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また当研究班の活動につきましては、日頃からご理解とご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

通院処遇では医療機関内のみならず多くの機関との連携が必要とされます。そのため業務遂行には時間およびマンパワーが求められるところですが、入院処遇に比べ診療報酬や人員配置の乏しさが指摘されています。この制度の目的である対象者の社会復帰を目指すためには、通院処遇の充実を進めていく必要があります。今回、研究テーマのひとつとして各医療機関での通院処遇における業務内容を調査、集計していくことといたしました。

業務多忙のおり誠に恐縮ですが、標記調査への御協力をいただけますよう宜しくお願い申し上げます。

記

1. 調査期間・返送期限

H19年1月29日～2月12日

ご返送は、**2月19日(月)**までをお願いいたします

2. 記入者

対象者の処遇をおこなう多職種チーム(MDT)メンバー全員

3. 内容・方法

関わっているチームメンバー全員の記入をお願いします

調査票への記入方法は手引きを参照して下さい

調査票のご返送および、ご不明な点は下記までお願いいたします

〒233-0006 横浜市港南区芹が谷2-5-1

神奈川県立精神医療センター 芹香病院

地域医療相談室 石井 利樹

TEL 045-822-0241 FAX 045-825-3852

Mail ishii.50kk@pref.kanagawa.jp

(資料 2)

医療観察法通院処遇タイムスタディ調査票記入の手引き (H18 年度)

◇記入方法・留意事項

- ・ H19 年 1 月 29 日から 2 月 12 日までの期間で通院処遇に関しておこなった業務について、10 分単位で記入して下さい。
- ・ 記入者は対象者の処遇をおこなう多職種チーム (MDT) メンバー全員でお願いします。
①医師 ②看護師 ③作業療法士 ④心理担当 ⑤PSW ⑥その他 ()
- ・ 実際に地域で生活し通院処遇をおこなっている方、および精神保健福祉上の入院になっている方への処遇も含みます。調査票の右肩に対象者数と内訳を記入してください。
また、調査票を取りまとめいただける方は、調査票の右下に病院全体の対象者数と内訳を記入してください。

◇項目について

項目 I. 通院医療サービス

A. ①診察、心理・面接

医師の診察 (予定日以外も含む)、心理担当、PSW の面接時間を記入して下さい。

②デイケア・ショートケア

担当したプログラムの時間を記入して下さい。それ以外の個別面接は⑥に記入して下さい。

③訪問

出発から帰院までの時間を記入して下さい。また下位項目についても、それぞれの時間について可能な限り記入して下さい。

→対象 (a 本人 b 家族 c その他)

→内容 (a 情報収集 b 相談 c 介入)

④外来 OT・在宅 OT

担当したプログラムの時間を記入して下さい。それ以外の個別面接は⑥に記入して下さい。

⑤電話 (発信と受信の合計)

発信および受信した電話の時間を記入して下さい。また下位項目についても、それぞれの時間について可能な限り記入して下さい。

→対象 (a 本人 b 家族 c その他)

→内容 (a 情報収集 b 相談 c 連絡)

B. ⑥前記以外の診察、面接

デイケア・OT などのプログラム以外の面接時間を記入して下さい。

⑦前記以外の治療プログラム

例えば栄養指導、服薬指導、疾病・心理教育などについて、おこなった時間を記入して下さい。

⑧その他の医療・支援活動

例えば自助グループ、家族講座、家族会などについて、おこなった時間を記入して下さい。

項目Ⅱ. 会議

⑨ケア会議

本人・家族が参加する多機関会議（ケア会議）の時間を記入して下さい。

所属以外でおこなった場合、出発から帰院までの時間を（ ）内に記入して下さい。

⑩チーム会議（院内）

定例の各チーム会議の時間を記入して下さい。

⑪全体会議（院内）

定例の各チーム状況確認や体制検討を行う全体会議の時間を記入して下さい。

項目Ⅲ. 記録、研修など

⑫記録、評価シート、資料作成

各種記録や評価シート（1ヶ月・3ヶ月）を作成した時間を記入して下さい。

⑬研修、勉強会、レクチャー、講演

院内・外を問わず、参加したものの時間を記入して下さい。

⑭その他

お忙しいところ、ご協力有難うございました

通院処遇アンケート調査結果 (図) ; 調査票 A

注：図表内の数値は人数，%を示す

図 A1

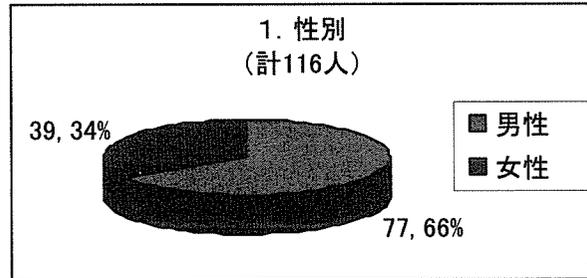


図 B1

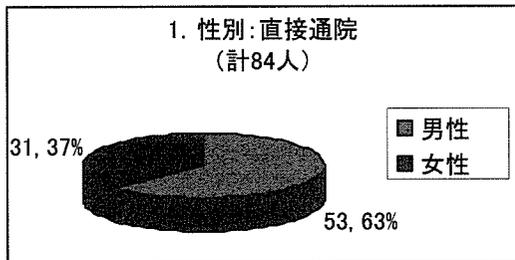


図 C1

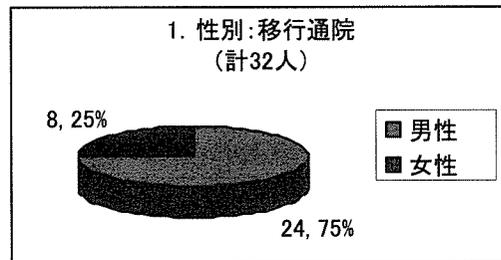


図 A2

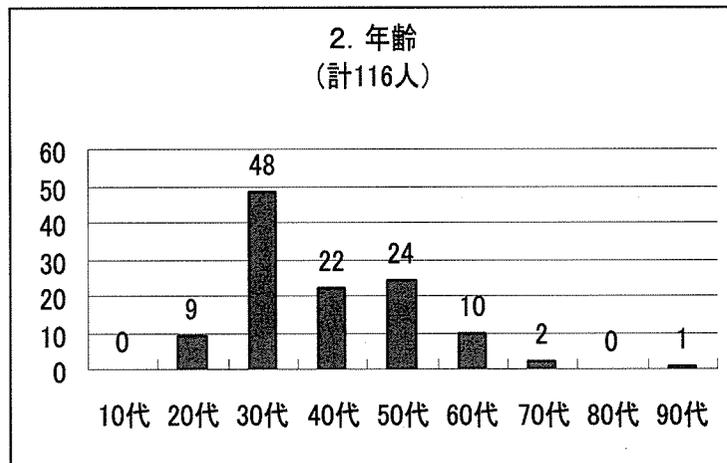


図 B2

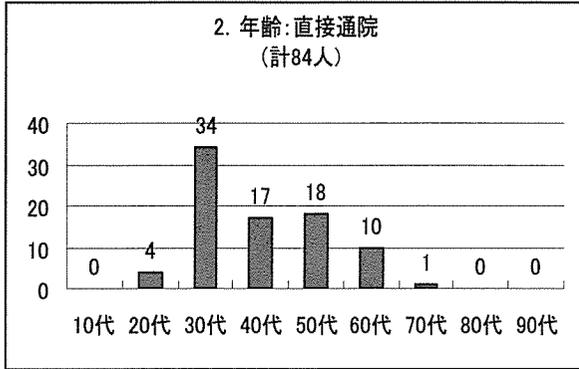


図 C2

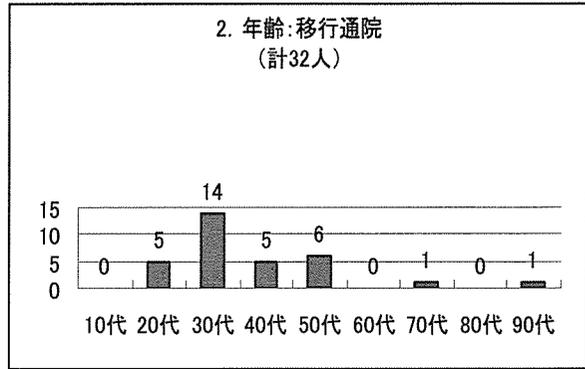


図 A3

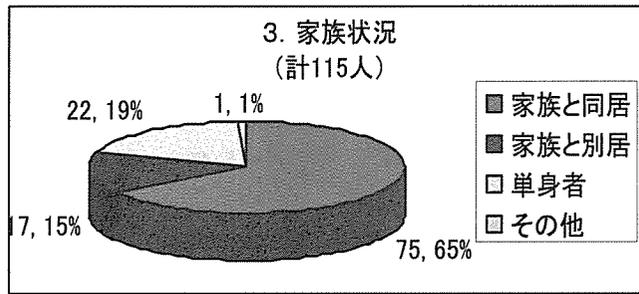


図 B3

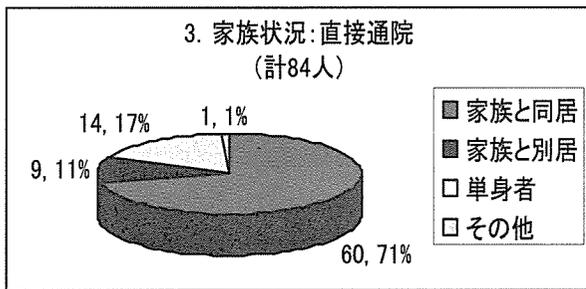


図 C3

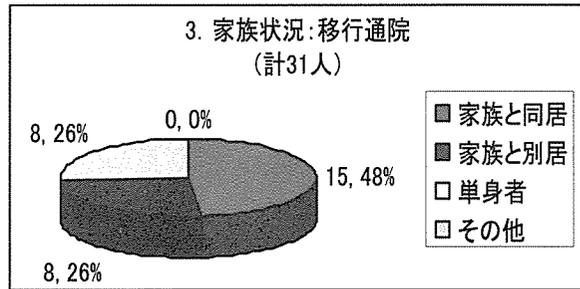


図 A4

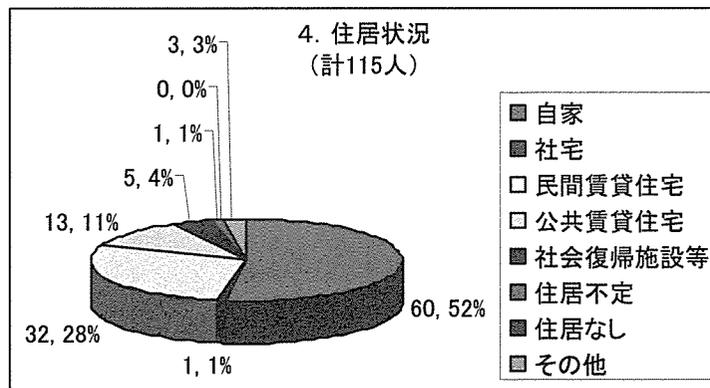


図 B4

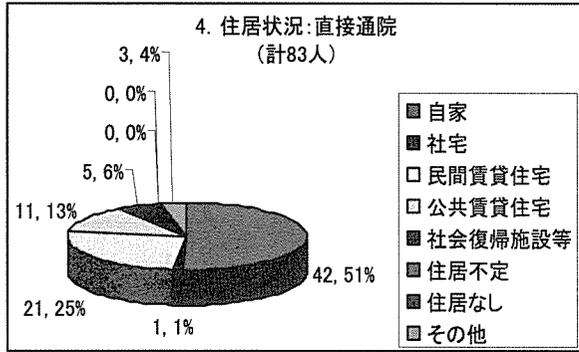


図 C4

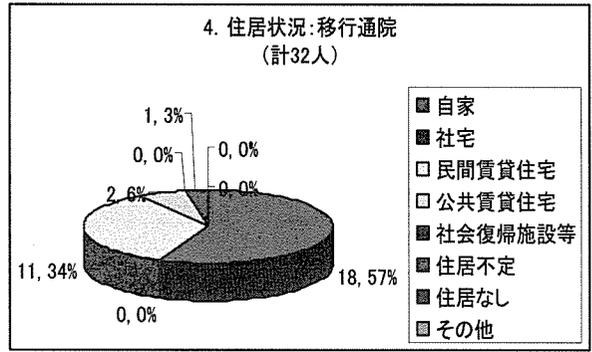


図 A5

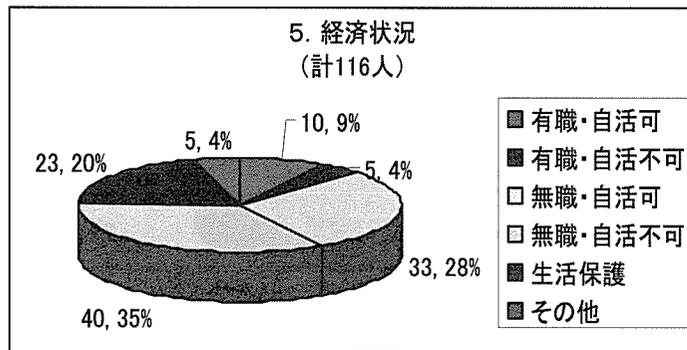


図 B5

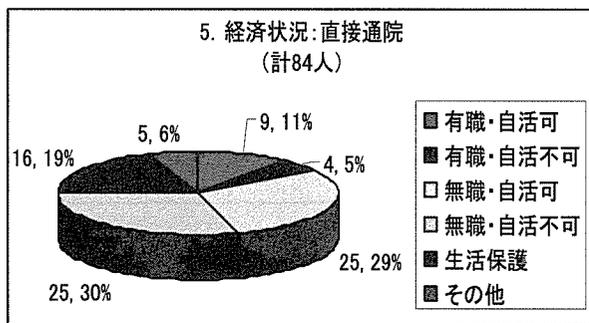


図 C5

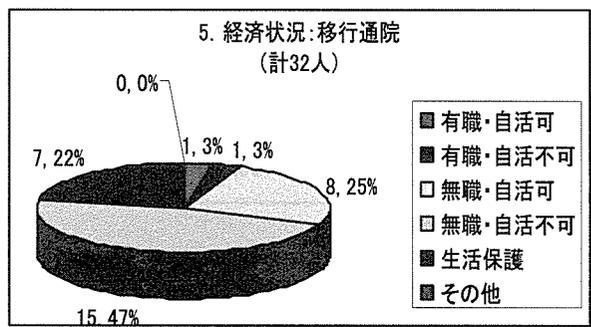


図 A6

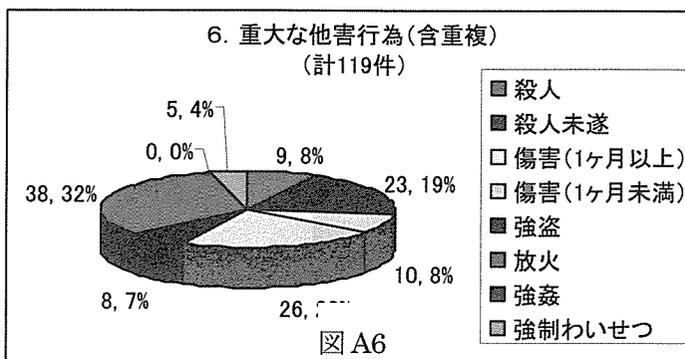


図 B6

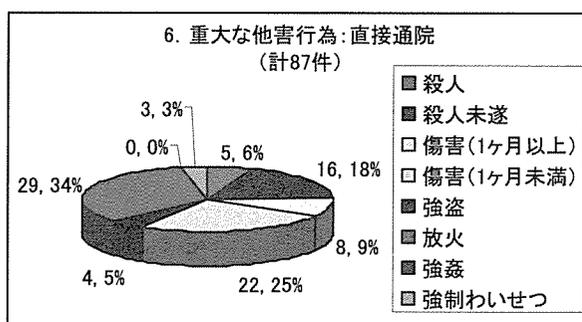


図 C6

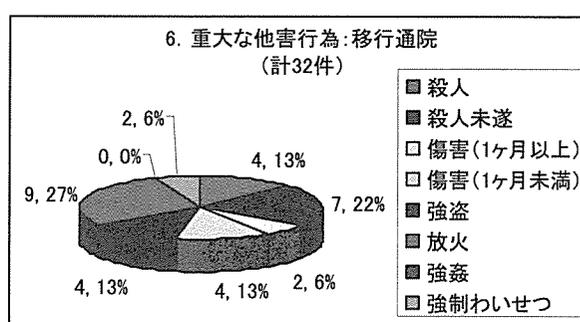


図 A7

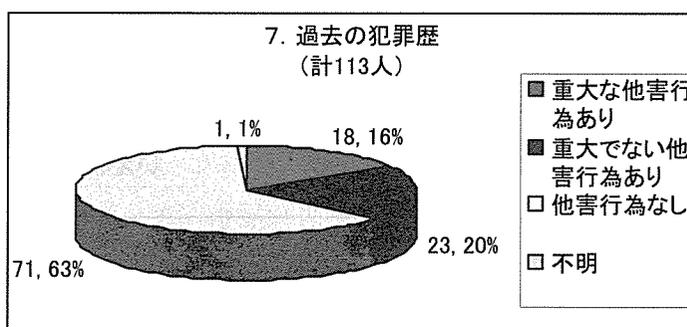


図 B7

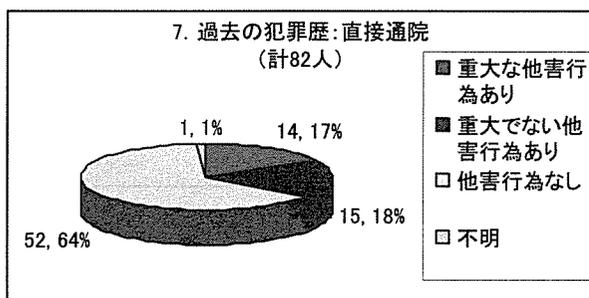


図 C7

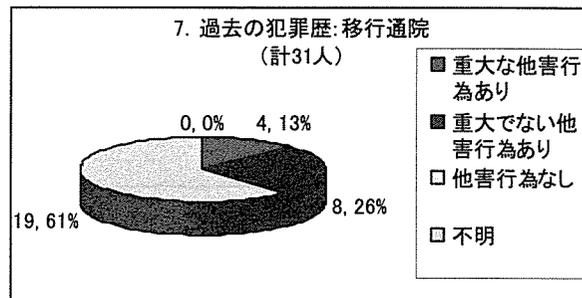


図 A8-1

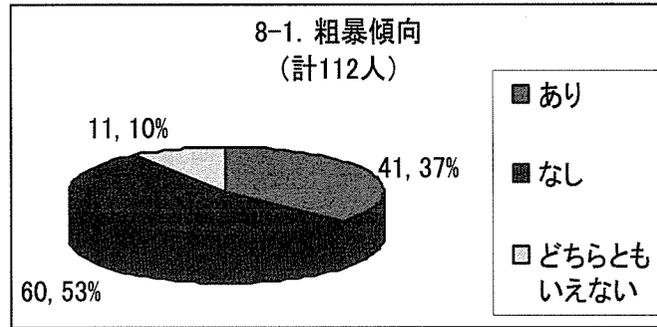


図 B8-1

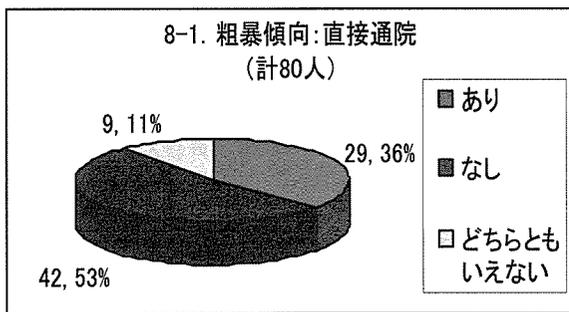


図 C8-1

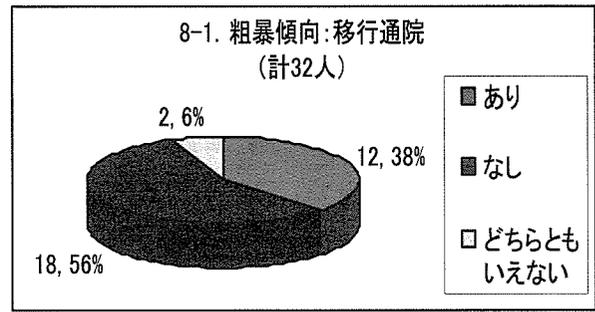


図 A8-2

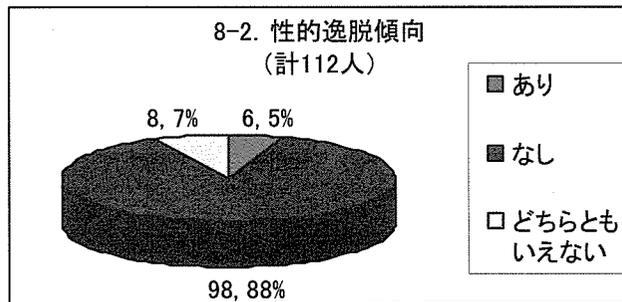


図 B8-2

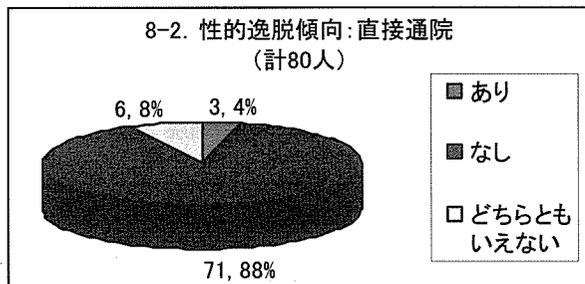


図 C8-2

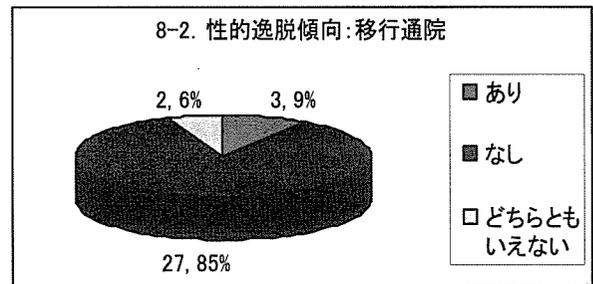


圖 A9-1

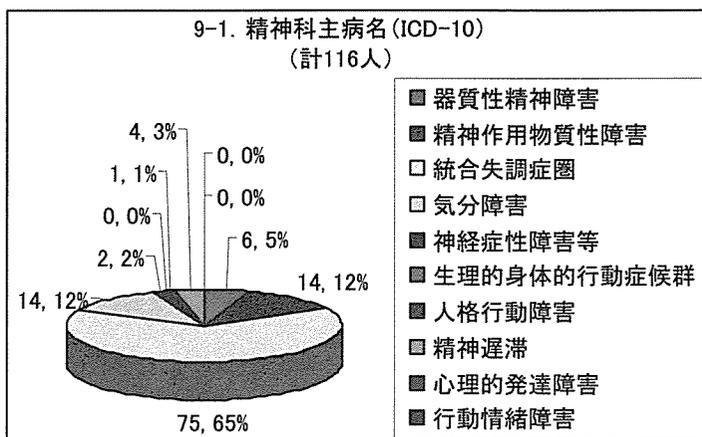


圖 B9-1

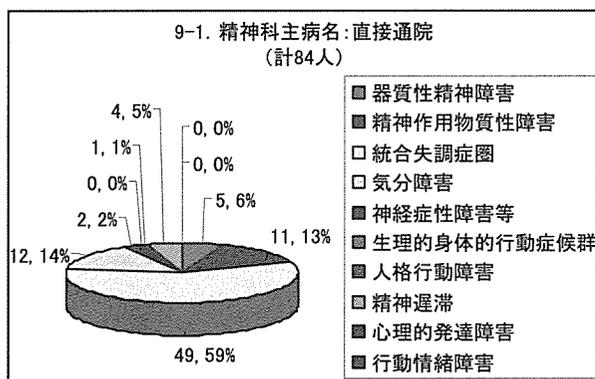


圖 C9-1

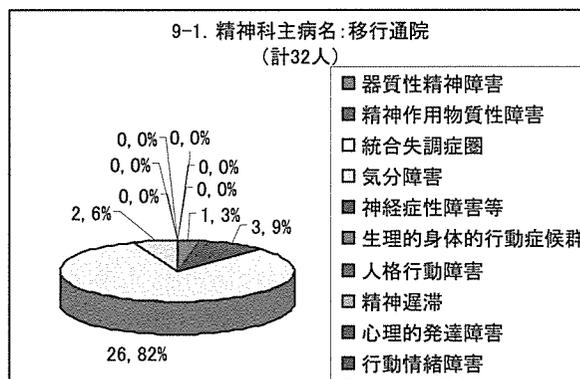


圖 A9-2

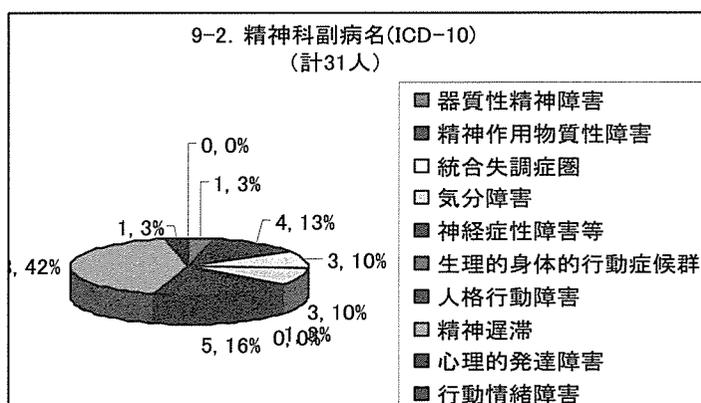


図 B9-2

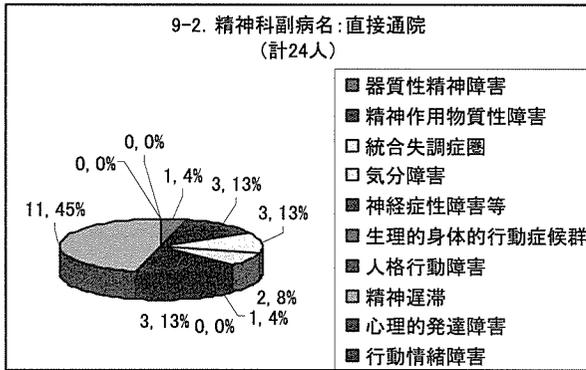


図 C9-2

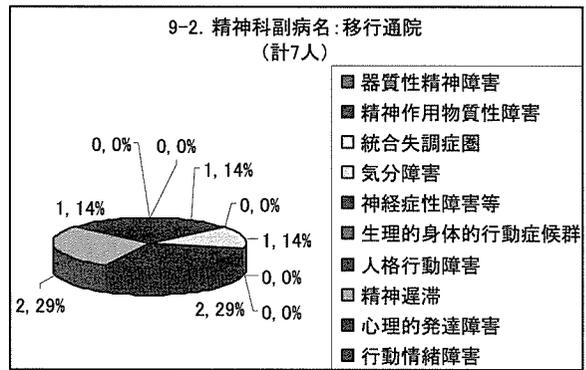


図 A10

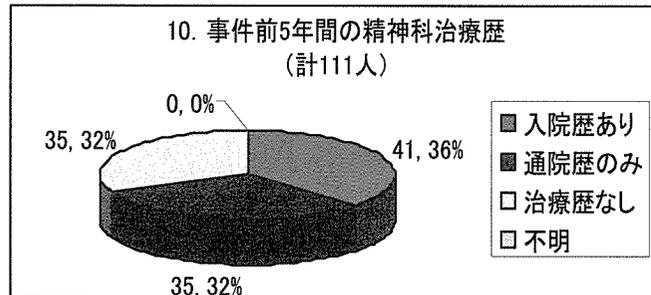


図 B10

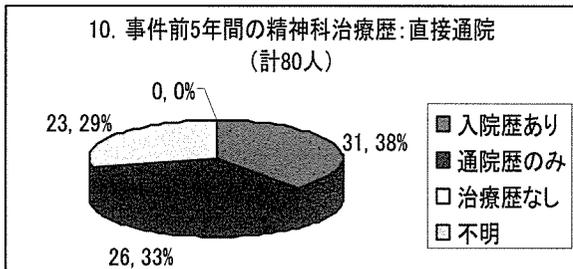


図 C10

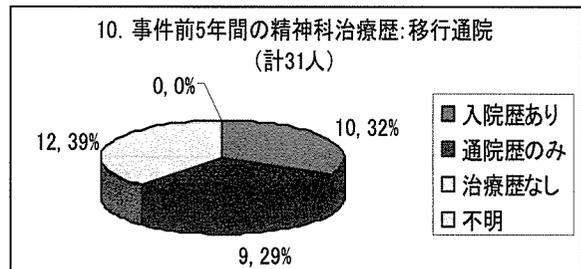


図 A11-1

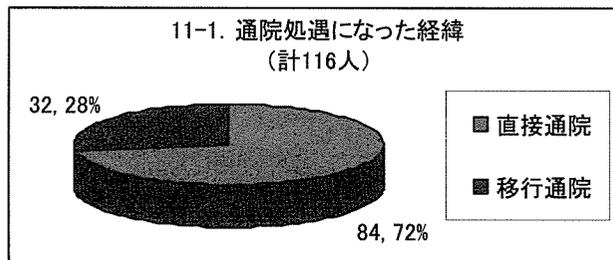


図 A11-2

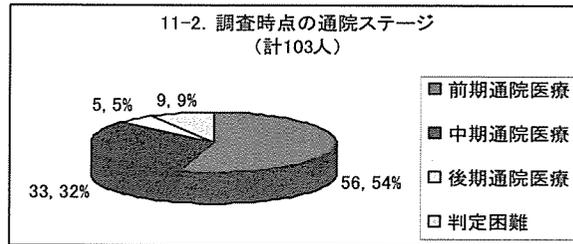


図 B11-2

図 C11-2

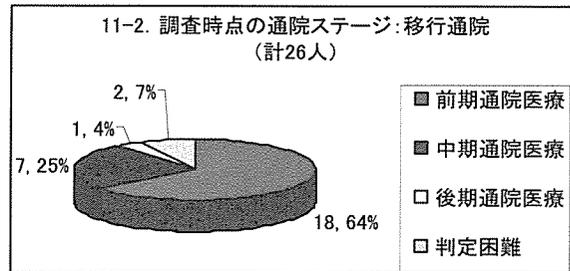
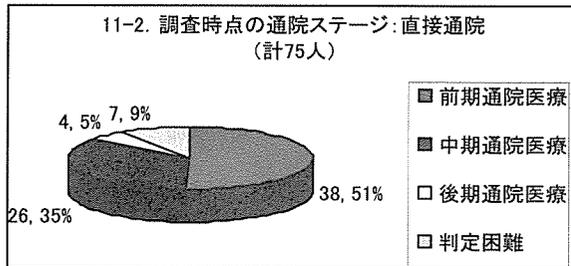


図 A12

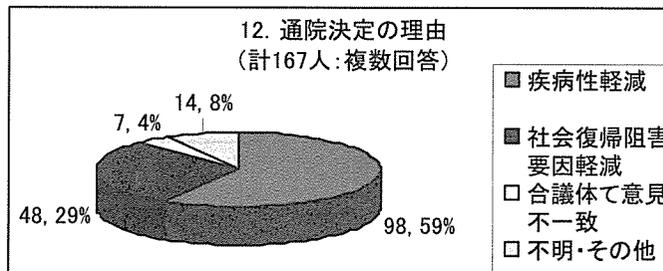


図 B12

図 C12

